

第2回東大阪市高齢者地域ケア会議 企画運営会議 要旨

開催日 令和5年6月28日（水）午後2時より午後3時30分まで

協議内容

- ・令和5年度の検討課題について意見交換する。
- ・令和5年度第2回東大阪市認知症本人活動支援推進ワーキンググループ会議の報告がある。

各機関の報告

1 各選出機関の活動状況について

【基幹型地域包括支援センター】

- ・6/20 令和5年度第1回生活支援コーディネーター連絡会を開催。社会資源マップの作成報告を地域包括支援センター春光園と基幹型地域包括支援センター東大阪市社会福祉協議会角田が行う。また、地域包括支援センターアーバンケア稲田が単位地域ケア会議の報告を行った。
- ・7/25 地域包括支援センター担当職員研修「高齢者虐待防止業務ガイドラインについて」を開催予定。
- ・7/28 地域包括支援センター担当職員研修「地域課題から日々の業務に広げる」をテーマに保健師と看護師を対象として開催予定。
- ・5月の基幹型地域包括支援センター東大阪市社会福祉協議会角田が出席した個別支援策検討会議の開催件数は、虐待ケース34件、処遇困難ケース12件で合計46件となっている。
- ・6/19 高齢者虐待防止専門会議を開催。この会議では前年度に虐待・虐待疑いとして対応したケースを点検と検証している。今年度は現在対応している中で支援に困っているケースもアドバイスを受けることができるように報告している。

【地域包括支援センター】

- ・5/15 地域包括支援センター連絡調整会議にて、対面で「管理者としての悩み」を中心に意見交換を実施した。新人教育や地域包括支援センターのシステムの違い、管理者としての業務と通常の業務をどのように振り分けるかなどの悩みが共有された。また、地域包括支援センターのある地域特性の違いで取り組む課題が異なっており、その点でも悩みがあることが分かった。

【訪問介護事業者部会】

- ・7/3 役員選出と認知症ケアについての研修を実施予定。

【訪問看護事業者部会】

- ・訪問看護ステーションが災害時に協力できる体制を作っていくため、事業継続計画をブロック会議で取り組んでいこうという年間目標を立てている。
- ・スムーズに在宅移行できるよう退院支援に関する研修の開催を予定している。

【通所介護通所リハビリテーション部会】

- ・7/26「腰痛にならないための福祉用具を使った介助方法」という研修を開催予定。

【介護支援専門員連絡会】

- ・7/11「効果的な地域包括ケアの実現に向けて」というテーマで、布施医師会で取り組んでいるICTを活用した多職種連携ネットワーク事業から多職種連携の在り方について学ぶ研修を開催予定。
- ・9月に交流会を開催予定。事業継続計画、高齢者虐待、感染症対策について各事業所の取り組みを意見交換する。

【枚岡医師会】

- ・7/2 認知症に関する内容について多職種連携研修会を開催予定。
- ・新型コロナウイルス感染症について、現在オミクロン株のXBB系統が流行している。新型コロナウイ

ルス感染症ワクチンの接種率が少し落ちているように感じられるため、高齢者を中心に呼びかけていただきたい。

【河内医師会】

- ・6/23 理事会開催。令和5年度第1回盾津東中学校区在宅医療推進多職種連携研修会、令和5年度第1回玉川中学校区高齢者生活支援等会議、第88回英田地区認知症ケアネットワーク推進委員会などが各理事から報告された。
- ・インフルエンザが小児科を中心に増加しており、新型コロナウイルス感染症も増加してきている。
- ・7/6 第16回河内在宅緩和ケア研究会事例検討会を開催予定。

【布施医師会】

- ・6/17 第31回布施緩和ケア研修会を開催。175人が参加した。
- ・10/7 第32回布施緩和ケア研修会をハイブリッド形式で開催予定。
- ・布施医師会の在宅医療・介護連携事業にて東大阪ワンチームと題したICTの取り組みを行っている。
- 7/11 東大阪市介護支援専門員連絡会の会員に対し、ワンチーム東大阪についての説明を実施予定。同様の説明を布施医師会圏域にある地域包括支援センターでも順次実施し、7/19 地域包括支援センターヴェルディ八戸ノ里と7/20 地域包括支援センターレーベンズポルトにて開催予定としており、地域の介護支援専門員を中心に参加していただく予定。

【市立東大阪医療センター】

- ・現在、入院患者の面会制限継続中。新型コロナウイルス感染症の患者は増加していない。

【社会福祉協議会】

- ・東大阪市高齢者詐欺被害防止事業では、振り込め詐欺被害等防止機器の申し込み件数が75件で残り25台、迷惑防止機能付き電話機の申し込み件数は86件で残り14台となっている。
- ・10/21 令和5年度ダイヤモンド婚・金婚のつどいが東大阪市立文化創造館にて開催予定。対象は、ダイヤモンド婚が昭和37年に結婚した夫婦で、金婚が昭和48年に結婚した夫婦となっている。
- ・オレンジメンバー養成講座を8/3, 8/10, 8/17, 8/24の連続講座として角田総合老人センターにて開催予定。定員が30人となっており、7/18から申し込みが開始するため周知を依頼したい。

【福祉事務所】

- ・福祉農園の区画を貸し付けるための抽選が終了した。9月の開園に向けて動いている。

【地域包括ケア推進課】

- ・大阪ええまちプロジェクトにて生活支援コーディネーターの活動が紹介されている。大阪ええまちプロジェクトのホームページにて具体的な取り組み内容を掲載している。
- ・8/1～8/31 東大阪市キャッシュレス de ハッピーポイントキャンペーンを実施予定。利用者向け説明会を7月から東大阪市内の各地で開催する。今回は高齢者のみを対象とした説明会は開催せず、一般の説明会のみであるが、予約不要となっており来場者は個別に説明することとなっている。
- ・短期集中予防サービスの利用者を募集している。通所型と訪問型のプログラムがあり、募集時期を前期と後期に分けて期間限定で開催している。10月開始分の通所型は大阪府立中央図書館と四条リージョンセンターにて行い、令和6年1月開始分は大阪商業大学とウェルネス教育研修センターで行う。訪問型は対象者の自宅で合計8回個別のプログラムを提供する。10月開始分の通所型、訪問型は募集開始しているため周知いただきたい。
- ・令和4年度認知症高齢者等支援対象者情報提供制度の集計結果について報告。令和5年度の受理件数は650件で、実人数は432人となっている。保護回数としては、1回～3回が76%、4回以上保護された人が約20%となっており、20回以上保護された事例もある。要介護認定の介護度は、認定なしが30%で、要介護1や2の人も目立つ結果となっている。地域別の件数は、中地域や西地域での対応件数が多くなっている。保護後は介護保険やオレンジチーム、SOSオレンジネットワークにつなぐなどの対応をしている。この集計結果を講演会などで公表できるかは地域包括ケア推進課で確認する。

- ・6/10 第32回楽Caféを実施。本人2人、家族1人が参加し、大阪府立図書館を散歩した。
- ・7/8 第33回楽Caféを実施予定。本人とコンビニエンスストアに行きアイスを購入する企画をしている。オレンジガーデニングプロジェクトの花の水やりも一緒にしたいと考えている。
- ・9月のオレンジガーデニングプロジェクトの実施を目指して、東大阪市役所でオレンジ色の花を育てている。地域包括支援センターでもオレンジ色の花を育てていけたらと考えており、8月頃から東大阪市役所で育てた花を受け渡していく予定。その他の事業所などでも咲かせていけたらと考えているため、協力を依頼したい。
- ・東大阪市政だよりのおれんじ通信について、第1回企画運営会議の際に7/1号にオレンジカフェを掲載すると伝えたが、紙面の関係上11月以降の掲載となる。それ以降の記事について今後検討していきたい。